



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五十嵐 新
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 目 篤 TEL 03-3279-0371
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,738	△10.6	△195	—	△161	—	108	△21.2
2023年3月期	8,660	3.3	141	—	242	235.7	138	△42.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	3.13	—	0.9	△1.0	△2.5
2023年3月期	3.98	—	1.2	1.6	1.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	15,421	12,026	78.0	346.50
2023年3月期	15,711	11,906	75.8	343.06

(参考) 自己資本 2024年3月期 12,027百万円 2023年3月期 11,906百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△107	△2	△104	3,664
2023年3月期	631	17	△1	3,879

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	104	75.0	0.9
2024年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	104	96.0	0.9
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 次期の配当は未定であります。

3. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年3月期の個別業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	34,838,325株	2023年3月期	34,838,325株
2024年3月期	131,605株	2023年3月期	131,398株
2024年3月期	34,706,829株	2023年3月期	34,707,123株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（5）次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(4) 事業等のリスク	4
(5) 次期の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績等の概況

業績の概要については、次のとおりであります。

当事業年度において、日本経済は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。一方、ウクライナ情勢や中東情勢は依然として緊迫した状況にあり、さらには、期中に円安が大幅に進み、原材料・エネルギー価格の高騰、人件費の増嵩と相俟って物価が上昇するなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社事業を取り巻く環境としては、医薬事業では毎年の薬価改定による薬剤費の引き下げが継続的に押し進められ、収益低減圧力にさらされていますが、眼科領域のスペシャリティーマーケットとして医薬品、医療機器、健康食品を含めたフルラインアップで事業機会拡大を探っているところです。一方、「強力わかもと」事業を主力にしたヘルスケア事業は、国内消費が緩やかに持ち直しつつあることに加え、インバウンド需要も回復してきております。

当社医薬事業では、その活動として、医療機関や卸へこれまでの医療用医薬品の適正使用の推進と副作用関連の情報提供活動に加え、眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド眼注用40mg」の供給停止に関する情報提供を引き続き推進してまいりました。また、卸との連携をより一層強化し、既存の後発医薬品、体外診断用医薬品などの売上伸長に努めてまいりました。前年度より新規参入した医療機器の分野においても、ターゲット施設を明確にしたプロモーション活動を推進しております。

ヘルスケア事業においては、インバウンド需要の取り込み、店頭でのプロモーション活動やSNSを活用した広告宣伝による認知拡大を図ってまいりました。これまで企業努力により原材料・エネルギー価格の高騰に対応してまいりましたが、2023年10月に32年ぶりに主力製品である「強力わかもと」の価格改定を行いました。また、通販では女性特有の悩みに寄り添うことを目的にフェムテックブランド「フェミフローラ」の育成を行ってまいりました。

グローバル事業にあつては、台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、欧米、アジア圏におけるライセンスイン・アウトの活動、また中国越境ECビジネスでの代理店との協働等の営業活動を行いました。国内では乳酸菌原料を始めとし、医薬品原料の販売や受託製造を推進してまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は77億3千8百万円（前年同期比10.6%減）、営業損失は1億9千5百万円（前年同期は営業利益1億4千1百万円）、経常損失は1億6千1百万円（前年同期は経常利益2億4千2百万円）、法人税等調整額を3千1百万円計上したため、当期純利益は1億8百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では不採算品算定の特例措置により薬価が引き上がった「ヒアルロン酸Na点眼液0.1%「わかもと」」、アデノウイルス感染症拡大の影響によりアデノウイルスキット「キャピリアアデノアイNeo」の売上が増加いたしました。一方で、製品供給停止の影響により「マキュエイド眼注用40mg」、薬価引き下げに加えて、花粉飛散状況の影響等を受け、抗アレルギー点眼薬「ゼペリン点眼液0.1%」及び「エピナスチン塩酸塩点眼液0.05%「わかもと」」等の売上が減少いたしました。その結果、売上高は33億9千3百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

ヘルスケア事業では、戦略的に広告宣伝費を抑制したことにより、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が減少いたしました。主力製品の「強力わかもと」の売上は増加いたしました。その結果、売上高は24億5千2百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

グローバル事業では、国内用原料薬品の売上が増加いたしました。輸出用の「強力わかもと」および国内における点眼薬の受託製品の売上が減少いたしました。その結果、売上高は17億1千8百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。オフィス賃貸料及び商業賃貸料はテナント入替の影響により減少いたしました。その結果、売上高は1億7千4百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末における総資産は、154億2千1百万円となり前事業年度末比2億9千万円(1.8%)の減少となりました。流動資産は89億6千9百万円となり3億8千3百万円(4.1%)の減少、固定資産は64億5千1百万円となり9千3百万円(1.5%)の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、現金及び預金、売掛金が減少したことが主たる要因であります。固定資産が増加いたしましたのは、ソフトウェアが増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、33億9千4百万円となり前事業年度末比4億9百万円(10.8%)の減少となりました。流動負債は18億8百万円となり4億3千万円(19.2%)の減少、固定負債は15億8千6百万円となり2千万円(1.3%)の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、買掛金、未払費用が減少したことが主たる要因であります。固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億2千6百万円となり前事業年度末比1億1千9百万円(1.0%)の増加となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の75.8%から77.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末から2億1千4百万円減少し、36億6千4百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動により減少した資金は1億7百万円となりました。（前年同期に比べ収入が7億3千9百万円減少）

税引前当期純利益が1億5千8百万円であり、非資金支出項目である減価償却費が4億1千1百万円、売上債権の減少額が3億8千1百万円あったことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動により減少した資金は2百万円となりました。（前年同期に比べ収入が1千9百万円減少）

投資有価証券の売却による収入が5億7千5百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が3億3千万円、無形固定資産の取得による支出が2億2千4百万円あったことが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動により減少した資金は1億4百万円となりました。（前年同期に比べ支出が1億3百万円増加）

配当金の支払額が1億3百万円あったことが主な要因であります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	74.8	78.1	76.8	75.8	77.9
時価ベースの自己資本比率(%)	49.9	101.9	67.1	54.6	51.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	-	63.5	30.3	16.1	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	-	286.7	589.0	1,092.7	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額（期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後））／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2020年3月期、2024年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及び、インタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は配当につきましては、安定的な配当の実施並びに配当性向50%以上を基本としながら財務体質の強化を図りつつ製造設備・技術の強化、研究開発、営業活動の強化のための投資に積極的に資金を充当し、企業価値の増大を目指したいと考えております。

当期業績や財務状況等を総合的に勘案し、当期の配当は1株あたり3円とさせていただきます。存じます。

また、次期の配当につきましては業績や財務状況等の先行きが不透明であることから、中間配当金・期末配当金ともに現時点では未定であります。

（４）事業等のリスク

当社の財政状態及び経営成績に影響を与える可能性のある主なリスクは、以下のようなものがあります。なお、文中の将来に関する事項は、当事業年度末現在において当社が判断したものであります。

①法的規制について

当社は薬機法をはじめとする、各種の薬事関連の規制のもとにあり、医薬品の開発、製造、流通、その他の段階で、様々な承認・認可制度や監視制度が設定されております。これらの規制の新設及び強化等により財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

②薬価改定について

医療用医薬品では、毎年実施される薬価改定により医薬品の薬価が下がる可能性があります。販売価格の下落により財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

③医薬品の開発について

医薬品の開発には多くの費用・労力・時間を要しますが、それにもかかわらず、商業的に成功する製品とならない可能性があります。研究開発の成果を享受できない場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

④訴訟リスクについて

当社が営業活動を行なうにあたり、製造物責任（PL）関連、環境関連等に関し、訴訟を提起される可能性があります。訴訟を提起された場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

⑤サプライチェーンマネジメントに関するリスクについて

医薬品を製造する過程で、原材料メーカーから供給が停止した場合、医薬品の安定供給に影響を及ぼす可能性があります。当社のレピュテーションが棄損された場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

⑥医薬品の品質に関するリスクについて

原材料や製法の変化による品質変化や、製品に異物が混入し、品質不良やロットアウトが発生した場合、医薬品の安定供給に影響を及ぼす可能性があります。当社のレピュテーションが棄損された場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

⑦災害・事故等について

当社の生産拠点は相模大井工場の1ヵ所のみであるため、この地域において大規模災害の発生や事故等により、操業中断に追い込まれる事態になった場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

⑧製商品の販売状況について

当社医療用医薬品事業の主力点眼剤の後発品への切り替え等により、これら競合品との競争激化が、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

⑨情報セキュリティ・情報管理に関するリスクについて

システム障害やウイルス、サイバー攻撃によって業務が停止、また個人情報を含んだ多くの機密情報が漏えいする可能性があります。業務停止、情報漏えいがあった場合、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

これらの他にも様々なリスクが存在しており、ここに記載されたリスクが当社の全てのリスクではありません。

(5) 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、次のとおりであります。

当社が製造販売する製品「マキュエイド眼注用40mg」において、出荷判定試験で不適合となる結果が認められたため、2023年4月末より当該製品の供給を停止しております。現在、出荷再開に向けて尽力しておりますが、現時点で具体的な出荷再開時期は未定であります。本件について現時点で影響額の正確な把握が困難であることから通期の業績予想につきましては「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,879,325	3,664,647
売掛金	3,196,694	2,814,807
商品及び製品	990,073	1,030,843
仕掛品	296,473	352,981
原材料及び貯蔵品	666,329	622,211
前払費用	83,233	88,026
前渡金	38,574	63,588
未収入金	17,444	37,272
未収還付法人税等	-	22,567
その他	185,238	272,874
流動資産合計	9,353,387	8,969,821
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,942,043	8,018,596
減価償却累計額	△5,458,749	△5,598,291
建物(純額)	2,483,293	2,420,304
構築物	268,504	268,904
減価償却累計額	△250,492	△256,385
構築物(純額)	18,011	12,518
機械及び装置	8,348,009	8,451,641
減価償却累計額	△8,006,367	△8,077,453
機械及び装置(純額)	341,641	374,188
車両運搬具	37,843	37,843
減価償却累計額	△33,752	△35,738
車両運搬具(純額)	4,090	2,104
工具、器具及び備品	1,026,366	1,037,957
減価償却累計額	△945,562	△965,738
工具、器具及び備品(純額)	80,804	72,218
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	21,422	63,625
有形固定資産合計	3,032,210	3,027,908
無形固定資産		
ソフトウエア	139,238	252,616
ソフトウエア仮勘定	59,150	100,752
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	202,069	357,049

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,483,290	2,442,113
保険積立金	311,940	284,916
長期前払費用	73,638	62,480
修繕積立金	81,158	108,851
その他	209,861	201,516
貸倒引当金	△36,003	△33,603
投資その他の資産合計	3,123,886	3,066,274
固定資産合計	6,358,165	6,451,232
資産合計	15,711,553	15,421,054
負債の部		
流動負債		
支払手形	166,165	149,885
買掛金	795,279	625,922
短期借入金	100,000	100,000
未払金	16,738	43,429
未払法人税等	87,914	27,816
未払費用	624,269	502,735
前受金	242	195
預り金	13,359	21,646
賞与引当金	218,200	163,900
未払消費税等	77,728	-
設備関係支払手形	36,205	30,203
設備関係未払金	80,153	108,454
リース債務	1,059	529
その他	21,600	33,423
流動負債合計	2,238,916	1,808,142
固定負債		
退職給付引当金	1,052,873	999,826
長期預り金	172,386	164,144
リース債務	529	-
繰延税金負債	340,177	422,867
固定負債合計	1,565,968	1,586,838
負債合計	3,804,884	3,394,980

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金		
資本準備金	2,675,826	2,675,826
その他資本剰余金	2	0
資本剰余金合計	2,675,828	2,675,826
利益剰余金		
利益準備金	476,536	476,536
その他利益剰余金		
別途積立金	3,953,000	3,953,000
繰越利益剰余金	276,928	281,767
利益剰余金合計	4,706,464	4,711,303
自己株式	△36,350	△36,391
株主資本合計	10,741,831	10,746,626
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,164,838	1,279,447
評価・換算差額等合計	1,164,838	1,279,447
純資産合計	11,906,669	12,026,073
負債純資産合計	15,711,553	15,421,054

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高		
製品売上高	7,992,183	7,037,593
商品売上高	487,759	526,647
賃貸事業収益	180,435	174,185
売上高合計	8,660,379	7,738,426
売上原価		
製品及び商品期首棚卸高	1,250,309	990,073
当期製品製造原価	3,988,067	3,844,557
当期商品仕入高	225,755	242,060
賃貸事業原価	107,872	116,523
合計	5,572,005	5,193,214
他勘定振替高	29,615	23,669
製品及び商品期末棚卸高	990,073	1,030,843
売上原価合計	4,552,316	4,138,701
売上総利益	4,108,062	3,599,724
販売費及び一般管理費	3,966,595	3,795,236
営業利益又は営業損失(△)	141,467	△195,511
営業外収益		
受取利息	28	29
受取配当金	47,898	53,716
受取補償金	16,258	—
保険戻戻金	40,099	—
その他	14,347	16,905
営業外収益合計	118,632	70,651
営業外費用		
支払利息	578	531
寄付金	14,485	14,808
固定資産除却損	291	9,291
保険解約損	—	10,001
為替差損	1,709	1,977
その他	460	387
営業外費用合計	17,525	36,997
経常利益又は経常損失(△)	242,574	△161,857
特別利益		
投資有価証券売却益	—	366,278
特別利益合計	—	366,278
特別損失		
固定資産除却損	—	5,428
棚卸資産廃棄損	—	40,137
減損損失	31,000	—
特別損失合計	31,000	45,565
税引前当期純利益	211,574	158,854
法人税、住民税及び事業税	64,696	17,961
法人税等調整額	8,621	31,934
法人税等合計	73,318	49,895
当期純利益	138,256	108,959

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	138,672	4,568,208	△36,273
当期変動額									
剰余金の配当							-	-	
当期純利益							138,256	138,256	
自己株式の取得									△76
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	138,256	138,256	△76
当期末残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	276,928	4,706,464	△36,350

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	10,603,651	877,152	877,152	11,480,803
当期変動額				
剰余金の配当	-			-
当期純利益	138,256			138,256
自己株式の取得	△76			△76
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)		287,685	287,685	287,685
当期変動額合計	138,180	287,685	287,685	425,865
当期末残高	10,741,831	1,164,838	1,164,838	11,906,669

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								自己株式
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			
						別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,395,887	2,675,826	2	2,675,828	476,536	3,953,000	276,928	4,706,464	△36,350
当期変動額									
剰余金の配当							△104,120	△104,120	
当期純利益							108,959	108,959	
自己株式の取得									△57
自己株式の処分			△2	△2					16
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	△2	△2	—	—	4,838	4,838	△40
当期末残高	3,395,887	2,675,826	0	2,675,826	476,536	3,953,000	281,767	4,711,303	△36,391

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	10,741,831	1,164,838	1,164,838	11,906,669
当期変動額				
剰余金の配当	△104,120			△104,120
当期純利益	108,959			108,959
自己株式の取得	△57			△57
自己株式の処分	13			13
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)		114,608	114,608	114,608
当期変動額合計	4,795	114,608	114,608	119,403
当期末残高	10,746,626	1,279,447	1,279,447	12,026,073

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	211,574	158,854
減価償却費	445,752	411,587
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,100	△2,400
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△32,267	△53,047
賞与引当金の増減額 (△は減少)	103,900	△67,000
受取利息及び受取配当金	△47,926	△53,746
支払利息	578	531
保険解約返戻金	△40,109	-
固定資産除却損	291	14,720
棚卸資産廃棄損	-	39,507
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△366,278
保険解約損益 (△は益)	-	10,001
減損損失	31,000	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△532,097	381,887
棚卸資産の増減額 (△は増加)	298,133	△53,158
仕入債務の増減額 (△は減少)	△112,694	△185,636
未払又は未収消費税等の増減額	54,880	△135,557
預り敷金及び保証金の受入による収入	753	△8,242
その他	253,952	△136,112
小計	634,621	△44,089
利息及び配当金の受取額	47,926	53,746
利息の支払額	△578	△531
法人税等の還付額	3,305	-
法人税等の支払額	△53,354	△116,464
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,920	△107,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85,307	△330,750
投資有価証券の取得による支出	△3,155	△2,857
投資有価証券の売却による収入	-	575,677
無形固定資産の取得による支出	△77,626	△224,936
保険積立金の積立による支出	△19,721	△15,122
保険積立金の解約による収入	220,752	32,162
その他の投資等の取得による支出	△48,230	△38,924
その他の投資等の売却による収入	30,420	2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,131	△2,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△75	△36
自己株式の処分による収入	-	11
リース債務の返済による支出	△1,059	△1,059
配当金の支払額	△480	△103,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,615	△104,986
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	647,436	△214,677
現金及び現金同等物の期首残高	3,231,889	3,879,325
現金及び現金同等物の期末残高	3,879,325	3,664,647

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、営業組織として分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に医薬部門、ヘルスケア部門、グローバル部門を置き、それぞれの部門が取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し事業活動を展開、並びに不動産賃貸業を営んでおります。

したがって、当社は上記3部門の事業および不動産賃貸業を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「医薬事業」「ヘルスケア事業」「グローバル事業」「不動産賃貸業」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注2)	財務諸表 計上額 (注1)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	グローバル 事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	4,459,904	2,001,200	2,018,839	180,435	8,660,379	—	8,660,379
計	4,459,904	2,001,200	2,018,839	180,435	8,660,379	—	8,660,379
セグメント利益又は 損失(△)	△287,149	213,715	142,338	72,563	141,467	—	141,467
セグメント資産	4,852,868	1,872,290	1,111,535	792,962	8,629,656	7,081,897	15,711,553
その他の項目							
減価償却費	247,789	106,244	54,730	36,988	445,752	—	445,752
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	68,568	55,017	15,795	—	139,381	—	139,381

(注) 1. セグメント利益又は利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産のうち、調整額に含めた全社資産の金額は7,081,897千円であり、その主なものは、余資運用資金(現金預金)及び長期投資資金(投資有価証券)であります。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注2)	財務諸表 計上額 (注1)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	グローバル 事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,393,447	2,452,690	1,718,102	174,185	7,738,426	-	7,738,426
計	3,393,447	2,452,690	1,718,102	174,185	7,738,426	-	7,738,426
セグメント利益又は 損失(△)	△777,602	430,896	93,531	57,662	△195,511	-	△195,511
セグメント資産	4,394,420	2,173,742	1,100,169	810,968	8,479,300	6,941,753	15,421,054
その他の項目							
減価償却費	211,076	115,669	52,332	32,508	411,587	-	411,587
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	244,480	160,200	80,240	8,257	493,180	-	493,180

(注) 1. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. セグメント資産のうち、調整額に含めた全社資産の金額は6,941,753千円であり、その主なものは、余資運用資金(現金預金)及び長期投資資金(投資有価証券)であります。

【関連情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	欧州	合計
7,471,774	1,081,499	107,106	8,660,379

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

全ての有形固定資産は本邦に所在しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称	売上高(千円)	関連するセグメント名
(株)メディセオ	1,104,969	医薬事業
(株)スズケン	1,055,070	医薬事業
大法貿易	955,149	グローバル事業

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

全ての有形固定資産は本邦に所在しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称	売上高（千円）	関連するセグメント名
アルフレッサヘルスケア(株)	1,156,215	ヘルスケア事業
(株)スズケン	857,583	医薬事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	
減損損失	—	31,000	—	—	31,000

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	343円 06銭	346円 50銭
1株当たり当期純利益	3円 98銭	3円 13銭

（注） 1. 前事業年度及び当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	138,256	108,959
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	138,256	108,959
期中平均株式数(千株)	34,707	34,706

（重要な後発事象）

（重要な設備投資）

当社は、2024年4月26日開催の取締役会において、以下の通り設備投資計画を決議いたしました。

1. 設備投資の目的

当社主力製品であります「強力わかもと」の内外需要が高まっているため、現行ラインの改造および新規設備導入により生産能力の向上を図り、生産量の増加を目指します。

2. 設備投資の内容

- （1）所在地 神奈川県足柄上郡 当社工場敷地内
- （2）工事期間 2024年～2027年（予定）
- （3）投資予定額 約20億円

3. 当該設備が営業・生産活動に及ぼす影響

当該設備の稼働時期は2027年以降を予定しており、当該設備投資における2025年3月期の業績に与える影響は軽微であります。